

けあとも

発行 株式会社
ケアサービスとも
平成30年11月
55号

小林良介さんの事

社内報第7号（平成26年11月号）にも書いたのですが、当社の提携クリニックである、久光クリニックの久光先生からのご紹介で、はじめは当社の訪問介護サービスの利用から始まった方です。上顎洞癌の末期で自宅パートで一人暮らしをされていたのですが、「小規模多機能どもの家」のご利用に変わり、泊まりのサービスのご利用中の夜間に口腔内の出血があり、その場合は看護師が対応して止血しましたが、翌日の朝



若かりし頃の小林さん足立区
土木部に勤務していました。

西新井病院を受診してその場で入院ということになり、入院手続きを終え、病室に向かおうとしたときに「入院はしないで、ともの家に帰る」と

主張し、周囲の人の説得もありながらも結局とも
の家に帰ってきました。

そのことがあってから「ともの家」で数日過ごすうちに、当時は有料老人ホームに入居していた妹さんの小林末（すえ）さんも「ともの家」のご利用に代わることになり、ご兄弟で「ともの家」を利用することになりました。

そうした日々のある日、小林さんから申し出あり、ご自分の持っている預金をともの家（看護師である海老根久美子）に寄付したいという申し出があり、その申し出を実現するために、弁護士さんと顧問税理士さんの立ち合いのもと遺言書を作成し、小林さんの亡きあとに実行されました。



妹の小林末（すえ）さん。ともの家にて。

会社としては小林さんのご遺志を尊重するた
めに、当時ともの家で新規のご利用者の受け入れ
が難しい状況になってきていて、どこか新しい小
規模多機能施設が必要という意見が出ていた時
期だったので、近隣の候補地を探したところ花畑
4-1-0-3の場所に3階建ての第116新井ビ

ルの1階部分を賃借して新しい小規模多機能の
開設ができる可能性があり、その為の開設資金と
して活用することになりました。

ともを家の開設から1年後の平成21年9月
に小規模多機能型居宅介護「良さんの家」の開設
にこぎつけました。

施設名は小林さんのお名前を拝借して「良さん
の家」としました。



晩年の小林さん。外
出先の水元公園にて

この開設により新規に登録25名・日中通所1
5名・夜間宿泊9名が受けられるようになりました。



良さんの家正面と室内配置図

映画「ケアニン」

上映会90名参加



「感動のあふれる」

10月11日(木) 19時より竹の塚学習センターで映画「ケアニン」の上映会があり、90名の参加がありました。鑑賞後の感想・アンケートでは「映画の内容に感動した」との印象と同時に現役のヘルパーさんからは「自分の日々のケアを見直してみたい」とか、「もう一度見たい」とか、「ほかの人にも見ることを勧めたい」という感想もありました。

また、映画の舞台が当社の運営する施設と同様に、小規模の介護施設ということで、大規模施設

にない、小規模ならではの良さが出ていたという声もありました。

開会のあいさつをした株式会社ケアサービスとも取締役の永田健一さんは、今回の上映会に、当社のスタッフ約50名、他事業所のスタッフ約40名の合計90名も参加していただきました。アンケートの内容も「感動した。」「次回作も見たい。」という声が多かったため、次回作の「ピア」も上映したいと思います。と語っていました。

介護保険について知ろう!

「知るこころカフェ」開催

参加者60名

10月20日午後1時30分から花畑地域学習センターで、「医療と介護・福祉の今を考える」と題して地域の方からの要請を受けて、海老根久美子が講師として講演をしました。

内容は介護保険制度を取りまく財政事情等を中心に「少子高齢化」の進展に伴って年々厳しくなっている社会保障費を賄うために予定されている消費税率引き上げでそのしわ寄せを低所得者の高齢者が受けることに待ったをかけるために私たちが力を合わせて声をあげていく必要が

有るといふ事でした。



司会者と講師の海老根久美子。



会場いっぱいの参加者の皆さん。